



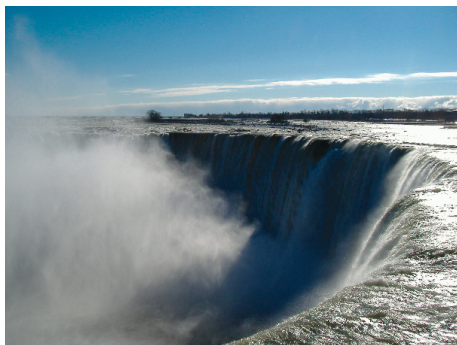
## ナイアガラの滝 ～自然の織り成すアトラクション～

文 / 写真提供：畑尻 郷（近鉄インターナショナル シカゴ支店）  
 協力：近鉄インターナショナル シカゴ支店



「どうしてそんな寒い時に寒いところへ行かなきゃいけないのよ!!」そう妻に叫ばれたのはまだ9月の終わり、蝉が「一応」鳴いているような日のことだった。11月の4連休、つまりはサンクスギビングの時に旅行計画を立てようと思い、色々あたってみたのだが、年間で最も人が動く時だけあって、飛行機はかなりの高値、ホテルやリゾートも強気の料金になっている。もう10年以上も旅行業に携わってればわかりきったことなのだが、逆にこういう業界にだけに自分の旅行計画には疎いものがある。お客様優先であれこれとアレンジして、さて自分の分はと言うといつも後回しになってしまうからである。そこで私が提案したのが「ナイアガラの滝見物」である。はっきりいって、冬のナイアガラは「オフシーズン」でホテルも夏の半値以下だし、いくらなんでも北米屈指の観光地、まったくクローズということはない。行ってみる価値は十分あるだろうと勝手に決め付け、妻に提案してみたところ、この回答である。そりゃそうだ。誰が好き好んで、寒い時に寒く、しかも閑散とした観光地に行きたがるだろうか。しかし、半ば強引に計画を推し進め、知り合いの家族も巻き込み、結局11月24日の木曜日の早朝、シカゴを発つことになった。

途中、雪で渋滞などのハプニングもあったが、結局13時間かかって、ナイアガラまでやってきた。この日はナイアガラでも老舗の有名ホテル、



ル、シェラトンオンザフォールに泊まった。以前はフォックスヘッドと呼ばれていたホテルだが、今はシェラトン系列になっている。丁度アメリカ滝のまん前で、**フォールズビュー**の部屋を取れば、冬でもライトアップされた滝を見ることが出来る。さすがにこの時期、夏場の半額以下でフォールズビューの部屋が取れるのは嬉しい。窓からはライトアップされた**アメリカ滝**が美しい。ドウドウという水の音はどんなBGMよりもこの場所には合っている様な気がした。

翌朝、ばっちり防寒して歩いて滝見物へ向かった。外は摂氏零下15度、風も強くかなり寒く感じた。しかし空は快晴で雲一つ無い天気だ。オフシーズンと思い、そんな観光客などないだろうと思いきや、そんなことは全くない。世界中から多くの人々が滝見物に来ているのではない。滝周辺では何やら色々な言語が飛び交っているのが面白かった。

途中歩いていると、滝から上がる水しぶきがそのまま凍って、木に「霧氷」の状態で吹き付けられ、「樹氷」ができていた。冬のナイアガラならではの光景である。それが朝の日差しに輝いて大変綺麗に見えた。

カナダ滝に向か



うにつれて、なんかホテルを出た時よりも暖かい様な気がする。この時期は水温が気温よりも高いため、滝からの水しぶきが空気よりも温くなるからだ。カナダ滝はアメリカ滝よりやはり迫力がある。馬蹄形に落ちるその滝はまさに大自然の神秘というべきものだ。呆然と見てしまう。ふと見ると、光の加減か、滝に虹がかっている。水しぶきの方向、光の強弱で虹は刻一刻と色や方向が変わる。シャッターチャンスはなかなか難しい。

ナイアガラで一番人気のアトラクション、霧の乙女号の遊覧はさすがにこの時期は運行していないが、**滝の裏側散策** (Journey Behind the Falls) は可能だ。でもこの寒さで、さすがに我々は遠慮してしまった。しかし結構多くの人々が雨合羽をかぶってこのツアーに参加していた。カナダ滝のビジターセンターからツアーに参加できる。

ナイアガラはカナダ側がメインのため、買い物をする時にはカナダドルが必要かどうか疑問になる。レストランもホテルもカナダ側ならば、支払いはカナダドルになるのだが、ついいうっかりしてしまい用意してないこともしばしばである。しかしほとんどの場合、クレジットカードが使えるので、まずはこれで処理できる。クレジットカード会社の換算レートはそれほど悪くはないので、使えるところはこれで払うのが良い。実際、ナイアガラではほとんどのお店でUSドルを受け付けてくれるので、最悪USで払っても大丈夫だが、小さい店にいくと適当に計算されて、気がつくときけこう損している場合もある。そんな時の為にATMで事前に使う分のキャッシュを下ろすのも良い。カナダの銀行のATMでアメリカの銀行のカードを使ったが、換



算レートは100CADで88USDだった。

さすがに北米屈指の観光地だけあって、そのお土産物屋の数も多い。どこでも基本的に売っているものは一緒のようだが、やはり安心して喜ばれるものを用意したいものだ。ナイアガラに数件日系のお土産物屋があるが、その中の老舗「**North Pole 北極**」(5719 Stanley Ave., Niagara Falls, Ontario, L2G 3X6) は日本人の目から選んだカナダのお土産をたくさん取り揃えてある。カナダといえば**メープルシロップ**、そしてナイアガラといえば**アイスワイン**といったいわゆる直感的なお土産ものから、**サーモンジャーキー**や**アイスワインケーキ**（これは大人チックでおいしいです）などの目新しい系のものまで、数多く取り揃えている。一般的に外国でお土産探しのときに、日本人の目から見た欲しいものというの思ったより見つけにくい、このお店では日本人スタッフと気心の知れた雰囲気「これは!!」と思うようないろいろなお土産を楽しむことができる。

さて、時間が許すようならば**ナイアガラオンザレイク**まで足を伸ばしてみよう。イギリスチックな小さな町だが、レストランや欧風なお店がたちならぶ観光地だ。ここは通年オープンしており、アメリカでちょっと見たことがないものや、書籍類、そしてキューバ製の葉巻なんかも売っていた。ちょうどクリスマス前だったので、町のほぼ真ん中にあったクリスマスショップはたくさんのおナメントが売られていて賑わっていた。

冬のナイアガラは確かに、アトラクションも少なく、一見魅力薄な感じもするが、夏の賑わいとは違ったまた別の楽しみかたがあることを確認できた。自然の織り成すアトラクションは春夏秋冬違う趣があり、決してその表情は魅力薄ではない。確かに寒く、厳しい気候ではあるが、その寒さ、厳しさを体験させてくれるのもまた一つの立派な旅情ではないだろうか。管理されたリゾートや、出来上がった旅を楽しむのと同様、少々無茶でもその中で新しい温もりを感じる事が出来ればそれもまたひとつの「楽しみ」である。あとは私の妻がこのことをわかってくれれば文句ないのだが…。

